

# 秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖 洋上風力発電事業 概要説明

秋田能代・三種・男鹿  
オフショアウインド合同会社

2024/3/18



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

1 事業概要

2 協議会意見とりまとめにおける留意事項への対応方針

3 秋田県内企業とのマッチング

4 地域共生




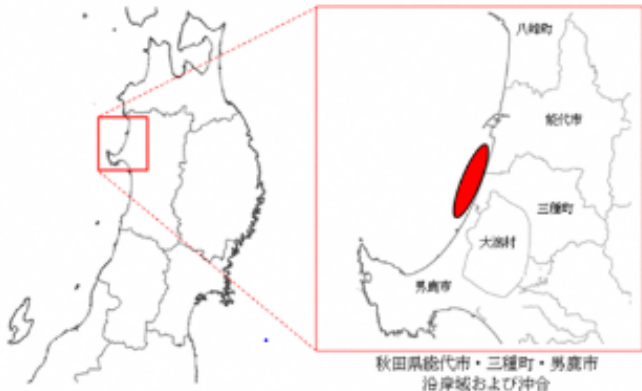
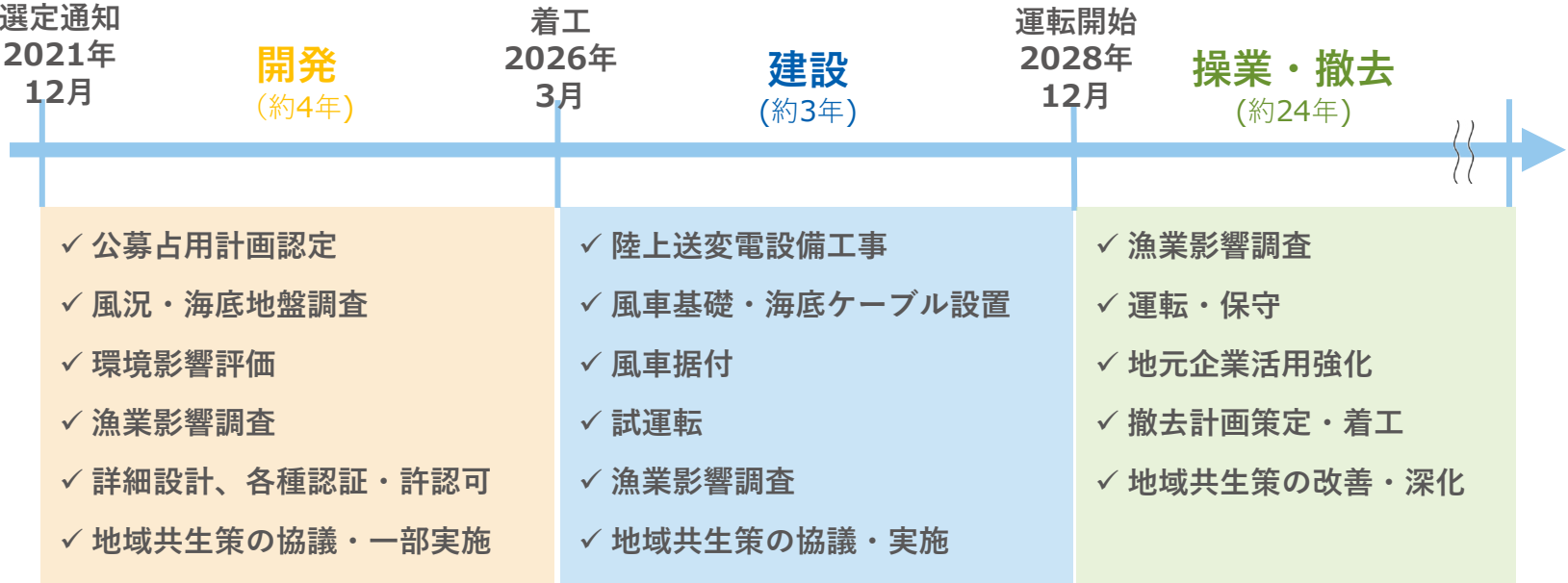
**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

# 事業概要



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

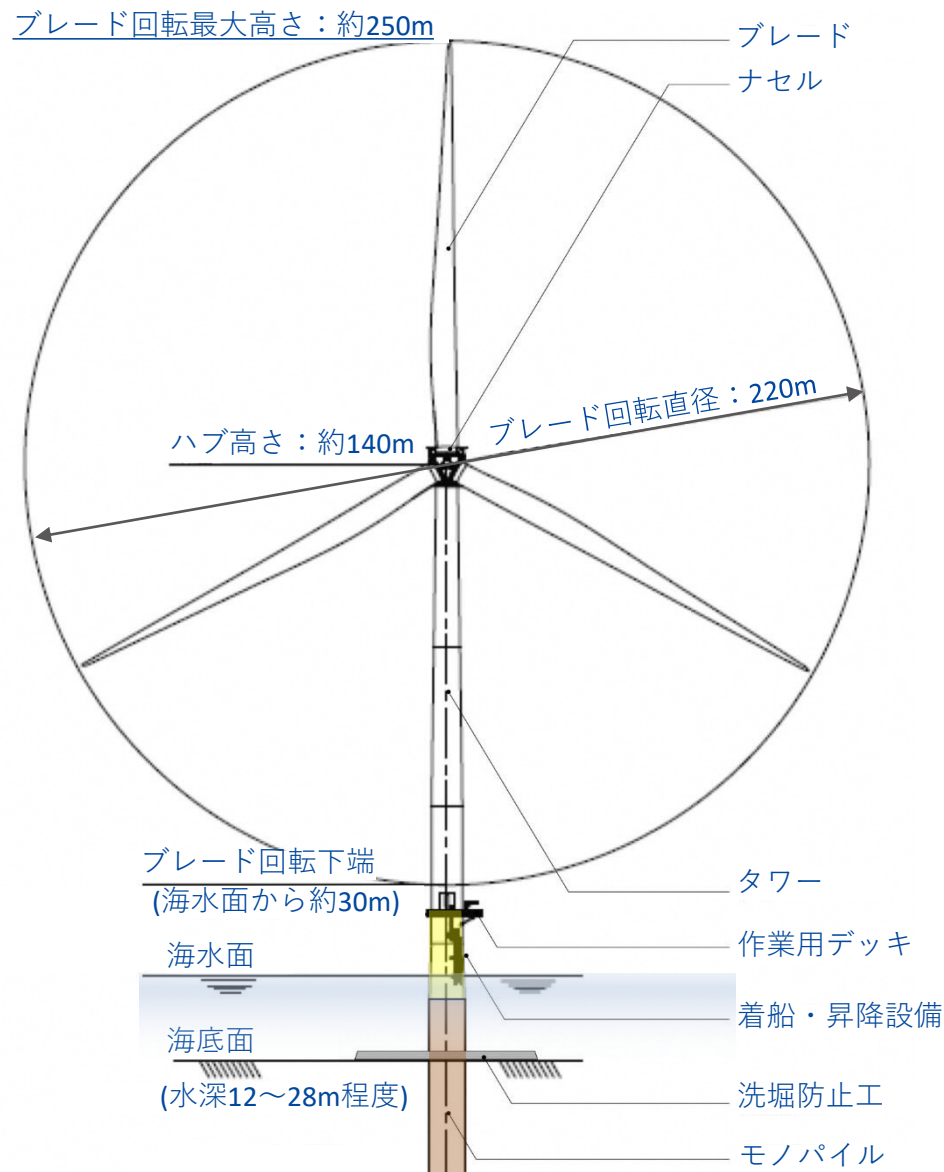
# 事業概要 (予定)

<p>出資者</p>	
<p>事業概要</p>	<p>発電設備：着床式洋上風力発電              発電設備出力：494MW              (13MW×38基、GE製)              運転開始時期：2028年12月              対象区域：6,268.8ヘクタール</p>  <p>秋田県能代市・三種町・男鹿市 沿岸域および沖合</p>
<p>スケジュール</p>	 <p><b>選定通知</b> 2021年12月</p> <p><b>開発</b> (約4年)</p> <p><b>着工</b> 2026年3月</p> <p><b>建設</b> (約3年)</p> <p><b>運転開始</b> 2028年12月</p> <p><b>操業・撤去</b> (約24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>開発 (約4年)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公募占用計画認定</li> <li>✓ 風況・海底地盤調査</li> <li>✓ 環境影響評価</li> <li>✓ 漁業影響調査</li> <li>✓ 詳細設計、各種認証・許認可</li> <li>✓ 地域共生策の協議・一部実施</li> </ul> </li> <li> <b>建設 (約3年)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 陸上送変電設備工事</li> <li>✓ 風車基礎・海底ケーブル設置</li> <li>✓ 風車据付</li> <li>✓ 試運転</li> <li>✓ 漁業影響調査</li> <li>✓ 地域共生策の協議・実施</li> </ul> </li> <li> <b>操業・撤去 (約24年)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 漁業影響調査</li> <li>✓ 運転・保守</li> <li>✓ 地元企業活用強化</li> <li>✓ 撤去計画策定・着工</li> <li>✓ 地域共生策の改善・深化</li> </ul> </li> </ul>



# 設備概要 (予定)

発電出力	494MW (13MW/基 × 38基)
風車発電機	GE Haliade-X 13MW
基礎形式	モノパイル式
系統連系先	東北電力NW 能代変電所
建設基地港	能代港
O&M拠点港	能代港
工事開始(予定)	陸上：2026年3月 洋上：2027年6月
運転開始(予定)	2028年12月
事業期間(予定)	2028年12月～2052年4月



# 主要工程（計画）

- 2022年12月に公募占用計画の認定、2023年6月にFIT事業計画の認定を受けました。
- 本海域における地盤が当初想定よりも軟弱であることが判明したため、2024年度にも海底地盤調査の追加実施を予定しています。このため、設計及び法令手続等の完了時期も見直しが必要となりますが、現時点で洋上工事開始時期や運転開始時期への影響はありません。

区分	工事	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
公募占用計画・FIT認定		▼2022年12月公募占用計画認定 ▼2023年6月FIT事業計画認定						
法令 手続 等	環境影響評価	[Bar]						
	ウインドファーム認証 技術基準適合性確認	[Bar]						
調査 設計	漁業影響調査		調査手法の策定⇒調査計画の策定⇒事前調査（2年）				建設中調査（1年）	
	海底地盤調査	[Bar]	[Bar]	[Bar]				
	風況調査	[Bar]						
	詳細設計		[Bar]					
工事	陸上送変電設備					▼2026年3月陸上工事開始		
	基地港湾利用期間					2026年4月～2029年3月		
	海底ケーブル敷設						▼2027年6月洋上工事開始	
	基礎設置						[Bar]	
	風車設置/試運転							2028年12月運転開始▼

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

# 協議会意見とりまとめにおける留意事項 への対応方針



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

## ① 漁業影響調査について

- 協議会意見とりまとめにおける留意事項では、発電事業における漁業への影響について十分な配慮と調査の実施が求められています。
- ご意見を踏まえ、事業者としても洋上風力発電設備の建設・稼働に伴う漁業への影響を把握し、事業による漁業への影響の緩和軽減策の検討、併せて今後の漁業共生策の検討を行うための客観的なデータを収集することを目的に、関係各漁協さまの協力のもと、今後調査を実施して参ります。

## ② 漁業影響調査実施に向けた考え方

- 各漁協さまにおける漁業の実態が異なることを踏まえ、調査の手法及び具体的な計画は関係漁業者の皆さまはじめ、関連自治体、学識者等の皆さまのご意見を踏まえて、策定して参ります。
- 特に「操業への影響」「生物への影響」については、漁協さまごとの違いが大きいと予想されるため、必ずしも事業海域全体で統一した調査の手法を用いず、それぞれのご意見を踏まえて、策定する考えです。
- 調査の結果についても、上述関係者の皆さまによる意見交換会等を開催し、指導、助言を得ながら調査を実施して参ります。

# 地域や漁業との共存及び漁業影響調査（3.留意事項(2)） 2/3

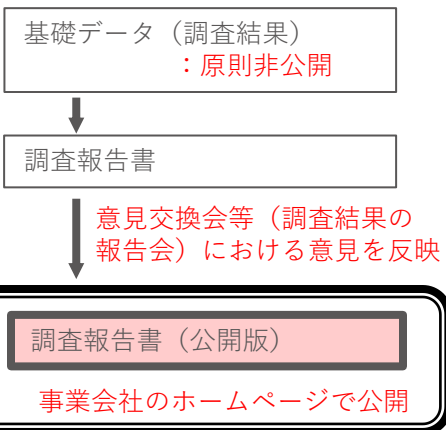
当該地域における漁業影響調査については、下記のスケジュールで検討・準備を進めています。  
 2023年度は、前述の通り「調査の手法」の策定を行い、「スケジュール」並びに「調査結果及びデータの取り扱い」について、漁業者の皆さまはじめ関連自治体等、関係者の皆さまからご了解いただきました。なお、学識者の意見については、事業者から関係者の皆さまにご説明しています。

<スケジュール（2024年3月時点の予定）>

項目	年	2022				2023				2024				2025				2026				2027				2028				2029	
	月	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6	7 8 9	10 11 12	1 2 3	4 5 6					
法定協議会		★第4回				★第5回								法定協議会へ報告 ↑				法定協議会へ報告 ↑				法定協議会へ報告 ↑									
意見交換会等						▼調査の手法の 意見交換				▽調査の計画の 意見交換				▽事前調査1年目 (調査実施状況・結果報告など)				▽事前調査2年目 (同左)				建設中調査▽ (同左)									
調査の手法の策定						■■■■																									
調査計画の策定						■■■■				■■■■																					
現地調査 ※ 調査計画で時期を検討するため、裕度のある範囲で記載						■■■■				■■■■				事前調査（2年間）				事後調査：建設中（1年間）稼働中（3年間）													
EIA現地調査（参考）		■■■■																				* 調査結果を踏まえ、必要な調査を継続									
洋上工事（予定）																						▼着工 27/6 完工 28/12▼									

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

<調査結果及びデータの取り扱い>



<公開媒体>  
 事業者（秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド合同会社）のホームページで公開。  
 （「調査報告書（公開版）」を掲載（調査の結果・成果の著作権は事業会社に帰属））

<結果のとりまとめ>  
 ・調査報告書は、1年分の調査ごとに取りまとめ。

<公開内容の検討・協議（考え方）>  
 ・事業者は、「調査報告書」の作成後、意見交換会等を開催し、調査結果を報告。  
 ・その際に、公開に不適切と想定される情報（漁業者個人のノウハウ等が公知になるおそれのある漁場情報など）の有無の確認・報告書へのご意見をいただき、「調査報告書（公開版）」としてとりまとめる。  
 ※ 学識者等への報告は、事業者から個別に行う。  
 ・なお、報告書の基となる「基礎データ」の扱いについては、原則非公開とするが、公益性や漁業振興に資するものは、事業者にて個別に対応する（目的・相手先に応じて提供）。

# 地域や漁業との共存及び漁業影響調査（3.留意事項(2)） 3/3

< 漁業影響調査 地区別調査計画案（まとめ） >

地 区		事業区域内			事業区域外
		能代浅内	三種八竜	若美	五里合・北浦・畠・戸賀
漁 協		能代市 浅内漁業協同組合	三種町 八竜漁業協同組合	秋田県漁業協同組合 中央支所（中央南地区）	秋田県漁業協同組合 中央支所（中央北地区）
操 業 影 響	操業情報調査	標本船調査	○	○	○
		水揚げ資料等調査			
	聞き取り調査	○	○	○	○
生 物 影 響	漁獲調査・漁獲状況調査	○	○	○	○
	産卵調査	-	-	○	○
	稚魚調査	-	-	○	○
	胃内容物調査	-	-	○	○
	聞き取り調査（サケ・マス）	秋田県鮭鱒増殖協会への実施を検討			
	その他魚類調査	○	○	○	○
	付着生物調査	○	○	○	○
	底生生物調査	○	○	○	○
	プランクトン	既存資料調査による情報収集等を検討			
環 境 影 響	水質（水温・塩分・濁度）	○（漁獲調査と同時）	○（漁獲調査と同時）	○（漁獲調査と同時）	○（漁獲調査と同時）
	流況（流向流速）	○	○	-	○
	水中音	-	○	-	○
	振動（その他の項目）	○	-	-	-
	漂流物・堆積物	聞き取り調査による情報収集等を検討			
	地形・地質、その他	聞き取り調査による情報収集等を検討			





(電子地形図 (国土地理院) を加工して作成)

協議会意見をはじめとする関係者の皆さまのご意見を踏まえて、風車・海底ケーブル等の配置を計画しています。引き続き、関係漁業者さまをはじめとする地域との協議、環境影響評価や海底地盤調査の結果を踏まえ、必要に応じて最適化を図って参ります。

## 「協議会意見とりまとめ」留意事項への対応

- **漁業への影響**  
引き続き関係漁業者さまへの丁寧な説明・協議を行って参ります。
- **設置水深**  
漁業との共存共栄の理念のもと、風車は水深10m以深へ配置する計画としております。
- **既存海洋構造物**  
海底面調査により魚礁等の存在を確認しました。関連自治体及び漁業関係者の皆さまと協議し、風車・海底ケーブルは魚礁等の保全及び管理に支障がないように配置しております。
- **船舶の航行**  
船舶の航行の安全確保に向けて関係各所との協議を継続していくと共に、航行安全調査を実施し、必要となる安全対策を検討して参ります。
- **電波環境**  
主要な放送局間の電波見通しに影響ない配置計画としております。今後、現地調査を含め詳細検討を行って参ります。
- **鉱業権者**  
設置位置等の策定において鉱業権者さまと事前協議を行って参ります。

## その他洋上風力発電設備等の設置位置に関する検討状況

- **環境影響評価**  
騒音、風車の影等への影響に配慮し、沿岸から1.5km以上の離隔を確保しております。
- **海底地盤調査**  
海底地形や地盤の性状を踏まえて、風車や海底ケーブルの配置を検討しております。

## 船舶の航行の安全確保 (航行安全調査)

海域における船舶の航行環境等を調査し、付近を航行する船舶に与える影響や航行安全上の課題等を検討・抽出し、洋上風力発電設備等の建設・稼働時に必要な航行安全対策や船舶の運航ルートを策定するため、「(仮称)船舶航行安全対策検討委員会」を開催していく予定です。

### 【建設時の航行安全対策 検討内容(案)】

- ・風力発電機及び海底ケーブル設置工事の航行安全対策
- ・荷役及び海上輸送時における航行安全対策

### 【稼働時の航行安全対策 検討内容(案)】

- ・風車に必要な灯火（航路標識）等の視認状況
- ・船舶の運航ルールを含む航行安全対策

海上保安庁関係機関（第二管区海上保安本部、秋田海上保安部）および海難防止協会へ概要を説明し、進め方についてご了解を得ております。

委員会構成(案)：学識経験者、海事関係団体、関係行政機関等

## 開発段階における安全確保に向けた取り組み

- 調査等における災害発生時における対応マニュアルを制定、運用を開始。
- 安全専任者を配置し、海底地盤調査等における現場の安全確認を実施。
- 秋田県ツキノワグマ出没警報の発令、調査時における熊との遭遇事象を受け、熊による被害防止策を制定。

## 船舶航行安全対策検討委員会 検討フロー(案)

第一回

1. 事業概要
2. 海域に関する現況
3. 建設工事の作業内容

第二回

1. 建設工事中の船舶航行安全対策（素案）
2. 風車稼働中の視認性等の検討

風車の視認性シミュレーション

第三回

1. 建設工事中の船舶航行安全対策（案）
2. 風車稼働中の視認性等の検討
3. 風車稼働中の船舶航行安全対策（素案）
4. 報告書（骨子案）

第四回

1. 風車稼働中の船舶航行安全対策（案）
2. 報告書（案）

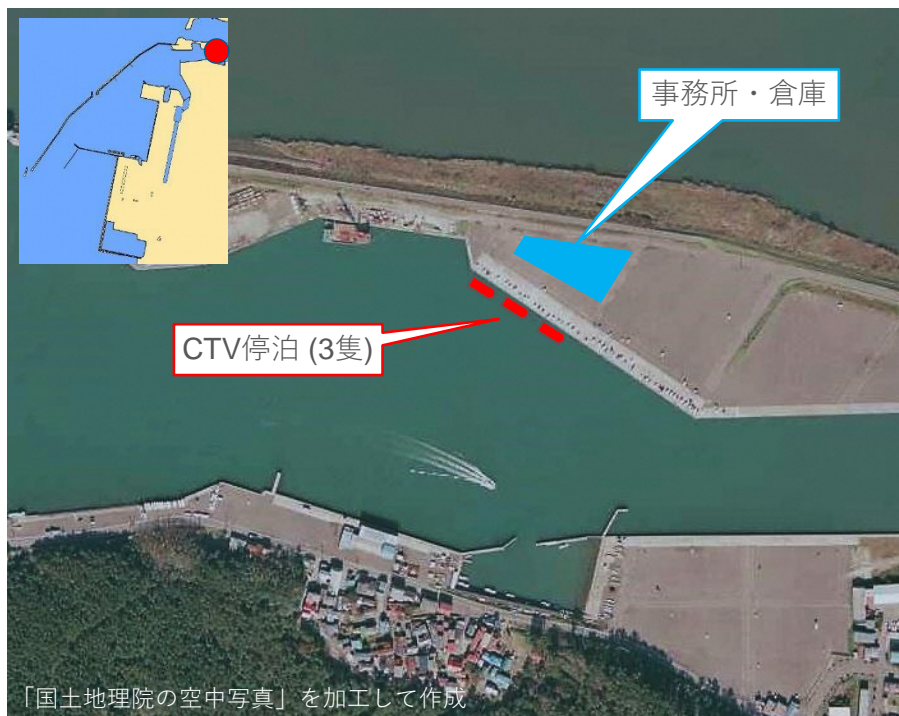


# 発電事業の実施 (3.留意事項(5))

## O&M(運転・維持管理)基地港

- O&M基地港として必要な係留設備等の設計を行った上で、秋田県港湾空港課、能代港湾事務所へ整備内容をご説明し、ご了解いただいております。
- 現在、O&M関連施設（事務所・倉庫等）の基本設計業務を実施しており、業務進捗に合わせて、関係各所へのご説明・協議を本格化させる予定です。

### 能代港中島地区利用計画



### CTVイメージ



### O&M関連施設イメージ



### 想定スケジュール

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028
能代港の設備整備 (予定)	2023/4 基本設計・実施設計等			2026/4 OM基地・港整備		2027/9 CTV運航開始
						2028/12 運転開始

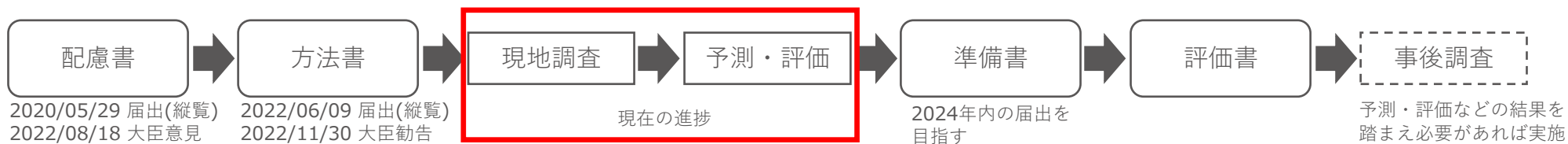
スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

# 環境配慮事項について (3.留意事項(6))

環境配慮事項については、以下のとおり取り組みを進めております。

## <環境影響評価手続き>

- 環境影響評価は、2023年夏季までに現地調査を実施し、調査結果の整理及び工事計画を踏まえた予測・評価を進めております。
- 予測・評価の結果などは、環境影響評価準備書として取りまとめ、届出・縦覧を行うほか、皆さまへの説明会を計画します。
- また、地域の自治会さまにも、地域共生策案等を説明する機会などで進捗をお伝えするなど丁寧な対応を引き続き進めて参ります。



項目	2023年度				2024年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1
	5	8	11	2	5	8	11	2
	6	9	12	3	6	9	12	3
環境影響評価	現地調査	[Bar]						
	予測・評価		[Bar]					
	準備書					[Bar]		
	評価書					評価書の確定：2025年11月予定		

環境要素	調査内容
大気環境	騒音、超低周波音
水環境	水質、底質
その他環境	風車の影
動物	哺乳類 (コウモリ類)
	鳥類
	海域に生息する動物
植物	陸域に生育する植物
	海域に生息する植物
景観	眺望点及び景観資源、眺望景観

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

# 秋田県内企業とのマッチング

## (陸上送変電設備工事)



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

## 元請企業による協力企業選定に関して：

- 事業者と各元請企業との契約に於いて、協力企業選定の最終意思決定に、事業者が関与することが出来ない建付けとなる予定も、元請企業、関連自治体、商工会・商工会議所と連携しマッチングイベント等を企画・実行するなど積極的に協力企業選定についてサポート致します。
- 事業者として洋上風力発電事業のスムーズな立ち上がりには、地元の皆様のご支援なしには成り立たないと考えており、元請企業に対して、その考えを継続的に共有して参ります。
- 洋上風力発電事業は新しい分野ということもあり、特に運転・保守（O&M）分野などでは、事業者のみならず皆様にもチャレンジ頂くことが秋田県内企業への発注量の増大につながるものと考えております。  
事業者として、地元の皆様に新規事業の機会を活用頂くべく、情報提供に努めて参ります。
- 当事業は事前に策定された予算を前提に取り組んでおります。共に事業成功を分かち合えるように皆様からの積極的な提案を期待しております。

# 陸上送変電設備工事

以下記載の施工体制に基づき、各陸上関連工事の委託先を選定予定です。



■ 秋田県内マッチング対象候補  
■ 秋田県外企業となる可能性のあるもの

地中送電工事  
(管路・マンホール他)

電気工事  
(送電線・変電所)

土木工事  
(変電所)

資材調達



## 一次請企業

管路・マンホール工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

推進 (簡易) 工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

関連付帯工事 (舗装他)

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

ケーブル入線・接続工事

協力企業 (メーカー)

協力企業 (三次以降)

鉄塔新設工事

協力企業 (電工会社)

協力企業 (三次以降)

変電所造成工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

変電機器据付工事

協力企業 (電工会社)

協力企業 (三次以降)

製造協力

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

材料メーカー他

協力企業 (二次)

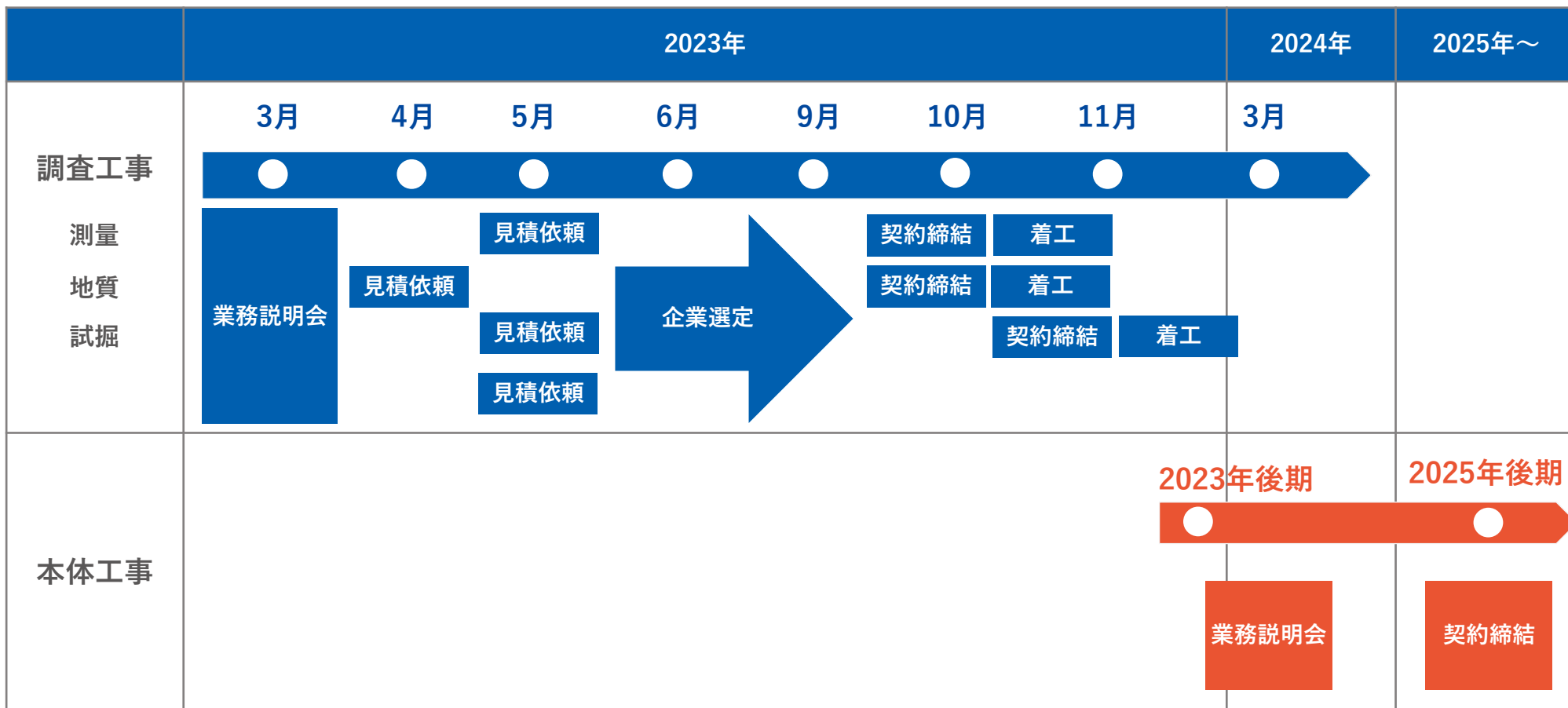
協力企業 (三次以降)



- ※ 一次請企業：電力会社発注工事 (154kVケーブル・管路工事等) の元請として受注・施工実績のある会社を想定
- ※ 上記施工体制は予定であり、請負企業に資材調達を依頼する場合あり
- ※ 秋田県内マッチング対象候補の協力企業については秋田県外の企業を選定する場合もあり

# 陸上送変電設備工事 マッチングスケジュール概要

- 調査工事と本体工事を分け、委託企業を選定予定です。
- 調査工事は、小規模且つ対象企業が限定的なため、2023年3月に関連産業団体を通じて業務説明会を実施済みです。
- 本体工事は、2023年後期以降、「秋田風作戦」や「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」等を利用し業務説明会を告知します。



スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。



# これまでのマッチング関連説明会 実施実績

## 2023年3月1日 あきた洋上風力発電関連産業フォーラム

場所： ANAクラウンプラザ秋田にて  
出席者： あきた洋上風力発電関連産業フォーラム会員企業・団体、過去に再エネ関連産業マッチングフォーラムに参加した企業、県内風力発電設備の運営事業者等 約170名

## 2023年3月10日 調査工事（測量）説明会（午前）

工事内容： 設計用図面作成のために必要となる詳細情報取得のために現地で測量を実施するもの  
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて  
出席者： 一般社団法人 秋田県県土整備コンサルタンツ協会 会員企業（18社 32名）

## 2023年3月10日 調査工事（地質）説明会（午後）

工事内容： 送電設備や変電設備の設計のために必要となる地盤情報取得のために実施するもの（ボーリング調査）  
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて  
出席者： 一般社団法人 秋田県地質調査業協会 会員企業（14社 19名）  
\*協会が窓口としてモデル見積取りまとめを実施

## 2023年3月29日 調査工事（試掘）説明会（午後）

工事内容： 地中送電線の設計のため、地中に埋設されている他設備（水道・ガス・電気等）の状況を実際に地面を掘って正確な位置を確認するもの  
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて  
出席者： 一般社団法人 秋田県建設業協会 会員企業（33社 49名）

## 2023年5月11日 秋田風作戦 全体会

場所： 秋田キャッスルホテルにて  
出席者： 秋田風作戦会員・団体等 約250名（オンライン参加含む）

## 2023年11月8日 秋田風作戦 全体会（マッチングイベント開催の告知のみ）

場所： 秋田キャッスルホテルにて  
出席者： 秋田風作戦会員・団体等 約300名（オンライン参加含む）

# 直近の秋田県内でのマッチングイベント

## 1. 日程案・業務説明会実施場所

- 2月29日（木）に秋田市内（秋田キャッスルホテル）にて実施
- 3月7日（木）に能代市内（能代山本広域交流センター）にて実施

## 2. 業務説明会概要

- 主催者（秋田県さま、能代商工会議所さま）による挨拶・取り組み紹介
- 発電事業者によるプロジェクト概要説明
- シーテック（元請予定会社）による業務内容説明
- 質疑応答
- 名刺交換会（秋田県内企業とシーテック／送電・電気・土木工事担当）

## 3. 参加者

### (1) 秋田市

- 124名（あきた洋上風力発電関連産業フォーラム会員（秋田県による組織）及び会員外の秋田県内企業
- シーテックより11名、事業者より10名

### (2) 能代市

- 49名（能代商工会議所会員及び会員外の秋田県内企業）
- シーテックより10名、事業者より7名





# マッチングイベントによる秋田県内企業の参入機会拡大

- 秋田県内企業による洋上風力事業への参入機会拡大を目指して参ります。
- 公平・公正にマッチングイベントに関する情報が行き渡る様、秋田県、関連自治体、商工会議所、商工会、産業団体の皆さまと連携し、幅広く情報が入手可能となるように、引き続き取り進めて参ります。

情報通知手段	内容
イベントを活用	秋田県主催の「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」や、「秋田風作戦」を利用した情報通知。
ホームページを活用	最新情報を下記ホームページ内に掲載。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 秋田県産業労働部 クリーンエネルギー産業振興課（県主催・共催時） <a href="https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/14168">https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/14168</a></li><li>◆ 秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド合同会社（当社） <a href="https://www.aknow.co.jp">https://www.aknow.co.jp</a></li></ul>
関連自治体との連携	能代市さま、三種町さま、男鹿市さまとの連携を進め、ホームページに掲載した情報内容を共有、併せ事業者より書面や電子メールによる情報通知を実施。
秋田県内の商工会議所、 商工会、産業団体との連携	ホームページに掲載された情報を各業界団体に共有し、併せ事業者から書面や電子メールによる情報通知を行う。各団体に対して、月報等での情報通知や総会時での個別企業への情報通知を依頼予定。

地域共生



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind

# 真牡蠣養殖の事業化

- 真牡蠣養殖の事業化に向けて、実証試験の実施、事業化、その後の販売等を支援いたします。
- 現在、(株)ヤマナカさまのご協力のもと、戸賀湾並びに台島海域において実証試験を行っており、何れの地点においても順調な生育が確認できております。

(戸賀湾：2023年3月～2024年春、台島海域：2023年7月～2024年6月)

<試験時の様子@戸賀湾、台島>



<試験エリア>





## 資源増大の取り組み（ハタハタ、鮭）

- 持続可能な漁業支援体制の構築に向けて、秋田県で伝統的に親しまれているハタハタ・鮭の資源増大事業に取り組んでいます。
- 鮭についてはふ化場による親魚採捕・採卵・稚魚の育成/放流への作業協力やPR支援、ハタハタについては漂着卵塊（ブリコ）の収集・稚魚育成/放流事業支援を行っております。
- 今後は漁業者さまのご意見を頂戴しながら、ヒラメ等の他魚種の種苗放流についても取り組んで参ります。

### <海岸に漂着したハタハタ卵塊(ブリコ)の収集・稚魚育成>



### <鮭の親魚採捕・稚魚育成・放流>



# 地元漁業の支援、地域製品の販路拡大

- 一次産業(漁業・農業)を中心とした地域の事業者の発展と、延いては地域の知名度向上に資する様々な施策を検討し、実施しております。
- 具体的には、雨風太陽さまの販路を活用した地元鮮魚のインターネット販売(ポケマル)、ノースコマースさまとの県産品のEC販売支援事業や三菱商事本社前(丸の内)での物産展開催等を通じて、地域製品の販路拡大と販売支援に取り組んでおります。
- また男鹿で水揚げされる水産品の販売先開拓や商品化支援を実施しており、男鹿海洋高校と共同で商品開発した「シイラジャーキー」を三菱商事の販路を活用して販売中です。  
(2023年12月より道の駅おが、アトリオン、秋田空港にて、2024年1月より県内スーパーにて取り扱い開始)

## < 漁師さんからの地魚EC直販事業支援 >



## < 県産品のEC販売支援事業 >

  
**あみたかげモン**  
 プロジェクト  
 AKITA FASHION PRODUCT

自社商品を  
Amazon  
で販売しませんか!

Amazonのほか、秋田県内の事業者が運営するネットショップでも得意店販売を予定しています。

## < 地元高校とコラボした商品開発(シイラジャーキー) >



参加事業者募集中

1事業者 2~3商品程度 / 最大30商品募集

お申し込みはメールにて 応募締め切り: 2023年 2月28日

参加事業者の連絡先は hazeman\_akita@north-commerce.jp | メールにてお申し込みください。お申し込みの際はメールに事業者名、担当名、電話番号、参加希望の商品名を記載いたします。

お問合せ 運営事務局 TEL.018-853-7833 応募主体 洋上風力発電SPC





# 能代市でのAIオンデマンド交通システムの導入支援

- 能代市さまと連携し、同市でのAIオンデマンド交通の導入検討を進めており、23年11月～12月には、能代市街地で「まちなかコサクル」の試験運行を実施。当社は同実証の一部費用を負担し、取り組みを支援しています。
- ルート決定に利用されるAI活用型乗合運行システムは、三菱商事グループ企業(スペア・テクノロジーソリューションズ社)のシステムが導入されており、技術面からも本事業をサポートしています。

<北羽新報 2023年10月11日付 朝刊1面>

## 齊藤市長会見

### AIオンデマンド交通「まちなかコサクル」の試験運行

### 洋上風力事業者の地域共生策で

能代市の齊藤市長は10日、市役所で記者会見した。洋上風力発電事業者の地域共生策の一環で、事業者の協賛を得てAI(人工知能)の試験運行「まちなかコサクル」の試験運行(11、12月)を行うとして、「事業が協力しながら地域にプラスになるようなことを考えていきたい」と述べた。

一方、能代港湾区域の洋上風車で先月に発生した油漏れについては、これまで積み上げてきた漁業者の理解に影響を及ぼす可能性があるとして、再発防止を要望したことを明らかにした。

まちなかコサクルは、はまなす号と同様にエリアで11、12月に運行。乗降場所は地域の「ごみステーション」や既存の停留所に100カ所設置し、時刻・経路を記者会見する齊藤市長(能代市役所)で

定めず、予約に応じて乗降場所の間を運行する。乗りたい時に電話やスマートフォンで予約し、同じ時間帯に予約が重複した場合は複数人で乗り合う。AIが最も効率的なルートを選定する。

市長は会見で、能代市・三種町・男鹿市沖で洋上風力発電事業を計画する三菱商事洋上風力プロジェクトが参画する「秋田エネルギー・グループ」に、洋上風力事業の地域共生策の一環として、まちなかコサクルに協賛してもらったと説明した。

市商工労働課によっても、三菱側から共生策がさまざま提案される中、市と意見交換を行った結果、すでに予約制乗合タクシー「コサクル」を運行していたこと

## アプリ「まちなかコサクル」ご利用方法イメージ

たくさんの市民の皆様にご利用いただけるよう、操作は真面目形式でもとも簡単です。まずは利用してみて、便利さや手軽さを体験してみてください。通院やお買い物、子どもの送り迎えなど気軽にご利用いただけます。

どなたでも期間中5回まで乗車無料!

11月1日～12月31日実証実験を行います。

# まちなかコサクル

バス と タクシー の 中間のような新しい公共交通です

- 1 アプリを立ち上げて「初めての方はこちら」を選択
- 2 +81のあとに、先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力。その後SMSで送られる認証コードを入力。
- 3 お名前(ひらがな)、メールアドレス、電話番号を入力。
- 4 アプリを立ち上げて「どこに行きますか?」を押す
- 5 乗車希望場所と降車希望場所も入力
- 6 乗車場所を確認
- 7 乗車希望日時・乗車人数を入力し、「以上の内容を確認し、次に進む」を押す
- 8 出発・乗車時刻を確認し、「配車を確定する」を押す

バスのように  
● 停留所でも乗り降りする  
● 乗り合って利用する

タクシーのように  
● 使いたいときに呼べる  
● あらかじめ決められた時刻表や運行ルートがない。

予約状況によりAI(人工知能)が効率的な運行ルートを選びます

呼ぶ  
● 使いたいときに電話かアプリ

乗る  
● 指定した停留所から乗車

行く  
● コサクルに乗り行きたい停留所へ

払う  
● 料金は200円を支払って下車  
● アプリ予約は100円引き!

実証期間 令和5年11/1(水)～12/31(日)まで  
※土日祝も運行

利用料 200円  
※アプリ予約の場合は100円引き

運行時間 午前9時から午後6時まで  
(当日の電子的予約開始は午後5時30分まで)  
【ご注意ください】  
目的地区での到着時刻が午後6時を過ぎると予想される場合、予約がキャンセルされる場合がございます。

アプリ予約の方  
「コサクル」能代市で検索、専用アプリをダウンロード  
アプリを開き、マップ上で乗降場所をそれぞれ選択して予約

電話予約の方へ  
予約専用ダイヤルに電話  
070-1007-5035  
● 長名・電話番号・乗車場所  
● 乗りたい場所・人数を伝える

この事業は、秋田県・三種町・男鹿市・洋上風力発電事業に賛同する地元企業と連携し、地域共生の一環として実施されています。

お問合せ 能代市商工労働課 0185-89-2186



# 人材育成(人材育成拠点の創設)

- 秋田県を日本を代表とする洋上風力発電の人材育成拠点とするべく、メンテナンス産業の育成支援、産学連携を通じた人材育成、次世代教育に取り組んでいます。
- O&Mのプロフェッショナル人材育成(高校生・高専生等)：風車メーカーやO&Mの実績を有する協力企業と共に、地元人材を採用・育成することで、地域に根差し、地域産業に貢献します。
- 産学連携講座・研修および共同研究(大学生等)：地元大学(秋田大学、国際教養大学、秋田県立大学等)や研究機関と連携し、洋上風力人材輩出に貢献します。秋田大学と国際教養大学とは、既に連携協定書を締結し、具体的な取り組みを始めております。
- 次世代教育(小中学生等)：出前講座・職場体験・バックヤード見学・校外学習・環境教育等により、次世代の育成にも取り組んでおります。

## <国際教養大学での寄附講座提供>



国際教養大学で22年度と23年度の春学期(全15回、英語)に寄附講座を提供。世界のエネルギー情勢、洋上風力開発、企業の脱炭素の取組などのテーマで毎回授業をアレンジ。

## <能代市立浅内小学校での出前講座>



能代市立浅内小学校の5・6年生を対象に、プログラミング(STEAM教育)の体験型授業を開催。

## <男鹿市立払戸小学校での出前講座>



男鹿市立払戸小学校の6年生を対象に、再エネ・電気の仕組み・SDGsの体験型授業を開催。



# 廃校舎の活用(TENOHA能代)プロジェクトへの協賛/イベント開催

- 能代市で東急不動産さまが企画・開発・運営を行う、廃校舎の活用(TENOHA能代)プロジェクトに三菱商事洋上風力(MCOW)がプロジェクトパートナーとして参画。地域交流スペース、産業支援(オフィス)スペースなどを設置しています。
- 地元関係者等の意見を聞きながらリノベーションを実施し、2023年4月に正式オープンしました。
- MCOWとしては、同スペースを使った教育関連イベント等の企画を今後実施していく方針です。5月には、同施設にて国際教養大学の学生向け寄付講座を実施(一部、地元高校生も参加)しました。

## <能代の旧常盤小学校校舎活用プロジェクト>

秋田魁新報 2023年05月18日付 県北

### 教養大生、洋上風力を学ぶ

能代市 事業者が取り組み解説



国際教養大(秋田市雄飛)の学生が再生可能エネルギーについて学ぶ講義が、能代市の常盤のTENOHA(テナ)で能代で行われた。三菱商事洋上風力発電のプロジェクトディレクターが本県沖で進む洋上風力発電の取り組みを解説。学生同士の討論も行った。

TENOHA能代で行われた国際教養大の講義。三菱商事洋上風力などの企業連合は、本県の能代市・三種町・男鹿市沖と田沢本市沖(北側・南側)の各海域で洋上風力発電の事業者を選定された。講義は同社ラウンジ・シヤパン(秋田市)、北部銀行(同)の寄付講座で、春季期に事業関係者や自治体職員などが講師となり実施。教養大の2年生以上17人が履修している。

岩城さんは英語で、政府が2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を掲げていること、本県で風力や地熱が再生可能エネルギーの導入が進んでいることなどを解説した。能代市・三種町・男鹿市沖では風車38基を設置する予定で、26年に着工、28年末に稼働させる計画も説明した。

学生はグループに分かれ、洋上風力発電と地域の在り方について討論。県外、海外からの誘客や産業界の必要性などを訴えた。三菱商事洋上風力は、学生の意見を今後のTENOHA能代は、東急不動産(東京)が旧常盤小・中学校をリノベーションし整備。オフィス交流スペースを設けている。三菱商事洋上風力は、同施設開かれる地域参加型のイベント「みんなのプロジェクト」にパートナー企業として携わっている。

講義は12日行った。(佐藤匠)

「みんなでつくる、能代"ときわ"のリビング」  
旧常盤小中学校の利活用 TENOHA 能代オープニングイベント

DIY(みんな)で  
かぐをつくろう!

参加費  
無料

日程・スケジュール  
同日参加を推奨します

3月4日(土) フレオープン  
11:30- おしげちゃんらによるだまこ餅の振る舞い  
ホテルピザさんによる ケーキの振る舞い  
13:00- 旧常盤小・中学校の紹介  
13:20- 能代と常盤の未来をみんなで考えよう  
14:30- "みんなのリビング"の家具を考えよう

4月15日(土) オープン記念イベント  
10:00- 3月4日にみんなで考えた家具を作ろう  
(終了予定16:00) TENOHA 能代は4月15日から使用できます!

申し込みはご参考に  
上のQRコードやURLから  
Google フォームにアクセス

会場  
旧常盤小・中学校  
(TENOHA 能代)  
〒018-2801 秋田県能代市常盤堂490  
駐車場あります!



<出典：東急不動産株式会社>

©秋田魁新報社



# 能代市-民間企業コンソーシアムの連携協定への参画

- 能代市さまが民間企業でつくるコンソーシアムに市地域おこし協力業務を委託し、地域活性化を図る事業計画が始動しています。  
(TENOHA能代を拠点に、当該事業を通じて市のPR強化・IT人材の育成・地元定着に繋げる狙い)
- 2024年2月、当社も民間企業の1社(全4社)として本協定に参加しております。
- 今後、パートナー企業の一員として、地域発展の為、洋上風力事業者の知見を活かして事業に協力して参ります。

## <現地報道一覧>

### 能代市 ネット活用した地域活性化でIT関連企業などと協定

02月20日 18時59分



能代市はIT関連の民間企業などと20日、連携協定を結び、地域おこし協力隊の活動を通じてインターネットを活用した地域活性化を進めることになりました。

能代市と連携協定を結んだのは、秋田市や東京に本社のあるIT関連の民間企業など4つの会社で

協定では、新たに立ち上がる共同体に能代市が地域おこし協力隊の活動を委託するということで、新たに6人の隊員を募集し、インターネットを活用した地域活性化を進めることにしています。

具体的には、中小企業などの事業承継についての動画や市内で行われるイベントのウェブサイトの制作、それに移住や定住を促進するための企画を行うことを想定しているということです。

また、活動の拠点として、廃校となった能代市内の校舎をリノベーションして去年4月にできたレンタルオフィスを活用するということです。

能代市企画部 企業連携室の鈴木良治室長は「今回の取り組みでIT企業を誘致することができるとともに、能代市のプロモーションを強化できると考えている。また将来的にIT企業に就職を希望する若者の受け皿にもなっていくと思っている」と話しています。

<NHK秋田NEWS WEB 2024年2月20日付掲載記事>

能代市は2024年度、民間企業でつくるコンソーシアムに市地域おこし協力隊の活動を委託し、IT技術を活用した地域活性化事業に取り組む。企業のウェブ制作や映像制作のノウハウを生かして市のPR強化を図り、IT人材の育成や地元定着につなげたい考え。20日に関係企業4社と連携協定を結んだ。市と協定を結んだのは秋田印刷製本(秋田市)、映像制作・売買のNEXT VIEWS(東京)、東急不動産(同)、秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド(秋田市)の4社。

市によると、能代市常盤の「TENOHA能代」を拠点に、地域の発展につなげたい」と述べた。(加藤龍太郎)

能代市は2024年度、民間企業でつくるコンソーシアムに市地域おこし協力隊の活動を委託し、IT技術を活用した地域活性化事業に取り組む。企業のウェブ制作や映像制作のノウハウを生かして市のPR強化を図り、IT人材の育成や地元定着につなげたい考え。20日に関係企業4社と連携協定を結んだ。市は関連予算を、24年度一般会計当初予算案に盛り込んだ。20日は能代市役所で締結式を開き、斉藤遊草市長や各社の代表ら10人が出席。斉藤市長は「人口減少が進む中、若者が自分の知識や能力を生かせる受け皿が地元に必要な」と述べた。

### IT活用、地域活性化へ 能代市、4社と連携協定

©秋田魁新報社

<秋田魁新報 2024年2月21日付 朝刊18面(県北)>

2024年(令和6年)2月22日(木曜)

能代市 ITで地域活性化 県内外4社と連携協定

TENOHA能代に活動

能代市は2024年度、民間企業でつくるコンソーシアムに市地域おこし協力隊の活動を委託し、IT技術を活用した地域活性化事業に取り組む。企業のウェブ制作や映像制作のノウハウを生かして市のPR強化を図り、IT人材の育成や地元定着につなげたい考え。20日に関係企業4社と連携協定を結んだ。市は関連予算を、24年度一般会計当初予算案に盛り込んだ。20日は能代市役所で締結式を開き、斉藤遊草市長や各社の代表ら10人が出席。斉藤市長は「人口減少が進む中、若者が自分の知識や能力を生かせる受け皿が地元に必要な」と述べた。



能代市と民間企業4社がTENOHA能代におけるITを活用した地域活性化に関する連携協定を締結

能代市は2024年度、民間企業でつくるコンソーシアムに市地域おこし協力隊の活動を委託し、IT技術を活用した地域活性化事業に取り組む。企業のウェブ制作や映像制作のノウハウを生かして市のPR強化を図り、IT人材の育成や地元定着につなげたい考え。20日に関係企業4社と連携協定を結んだ。市は関連予算を、24年度一般会計当初予算案に盛り込んだ。20日は能代市役所で締結式を開き、斉藤遊草市長や各社の代表ら10人が出席。斉藤市長は「人口減少が進む中、若者が自分の知識や能力を生かせる受け皿が地元に必要な」と述べた。

<北羽新報 2024年2月22日付 朝刊2面>

# 地域の魅力発信／交流人口の創出

- 地域の魅力発信・交流人口の創出を目指すべく、観光に従事する人材の育成支援、観光インフラの改善・拡充、デジタルトランスフォーメーション(DX)支援、観光ルート形成、情報発信など、総合的な観光振興施策の実行に取り組みます。
- 特に、洋上風力発電は産業観光コンテンツとしての可能性を秘めている一方、一過性・限定的な集客に留まることがないように、地域の様々な魅力の発掘・磨き上げ・連携・発信を実現すること、これらを支える観光人材の育成に注力していきたいと考えています。
- 三菱商事が観光客呼び込み支援を目的に提案した観光周遊アプリ(あきた観光パスポート)について、秋田県内の一部自治体(男鹿市さま・秋田市さま・潟上市さま)で、導入されております。

## <DXによる観光支援イメージ>



地域の観光特性に合う様々な機能を用意

LINE公式アカウントを活用したデジタル観光パスポート





# 秋田洋上風力自治体によるパネルディスカッション企画

- 地域そのものや地域特産品の知名度向上のみならず、関係人口の増加と新たなつながりの創出を目的としたイベントを東京都千代田区にて開催しました。
- 能代市、三種町、男鹿市、由利本荘市からご参加頂き、洋上風力発電事業を誘致した経緯・背景をはじめ、事業者選定前後の変化や、各自治体が抱える具体的な課題についてパネルディスカッション、及び質疑応答を行いました。
- また当日は各自治体から地域特産品を持参頂き、紹介する機会も設けました。





# 総合訓練センター(風と海の学校 あきた)との連携

- 日本郵船さまにより、洋上風力関連の人材輩出並びに教育・人材育成にも資する地方創生の拠点として、男鹿海洋高校内実習棟及び旧船川南小学校の一部を活用した洋上風力発電の総合訓練センター(風と海の学校 あきた)が2024年春に開所される予定です。
- 当社は発電事業者として、当訓練センターと連携し、人材育成・需要創出への貢献に取り組んで参ります。



< 写真提供：日本郵船(株) >

ご清聴有難うございました



**NOSHIRO MITANE OGA**  
Offshore Wind